

21.3世紀への躍進

～グローバル・シミュレーション・ゲーミングを通じて～

学校法人 京都光楠学園
京都学園中学高等学校

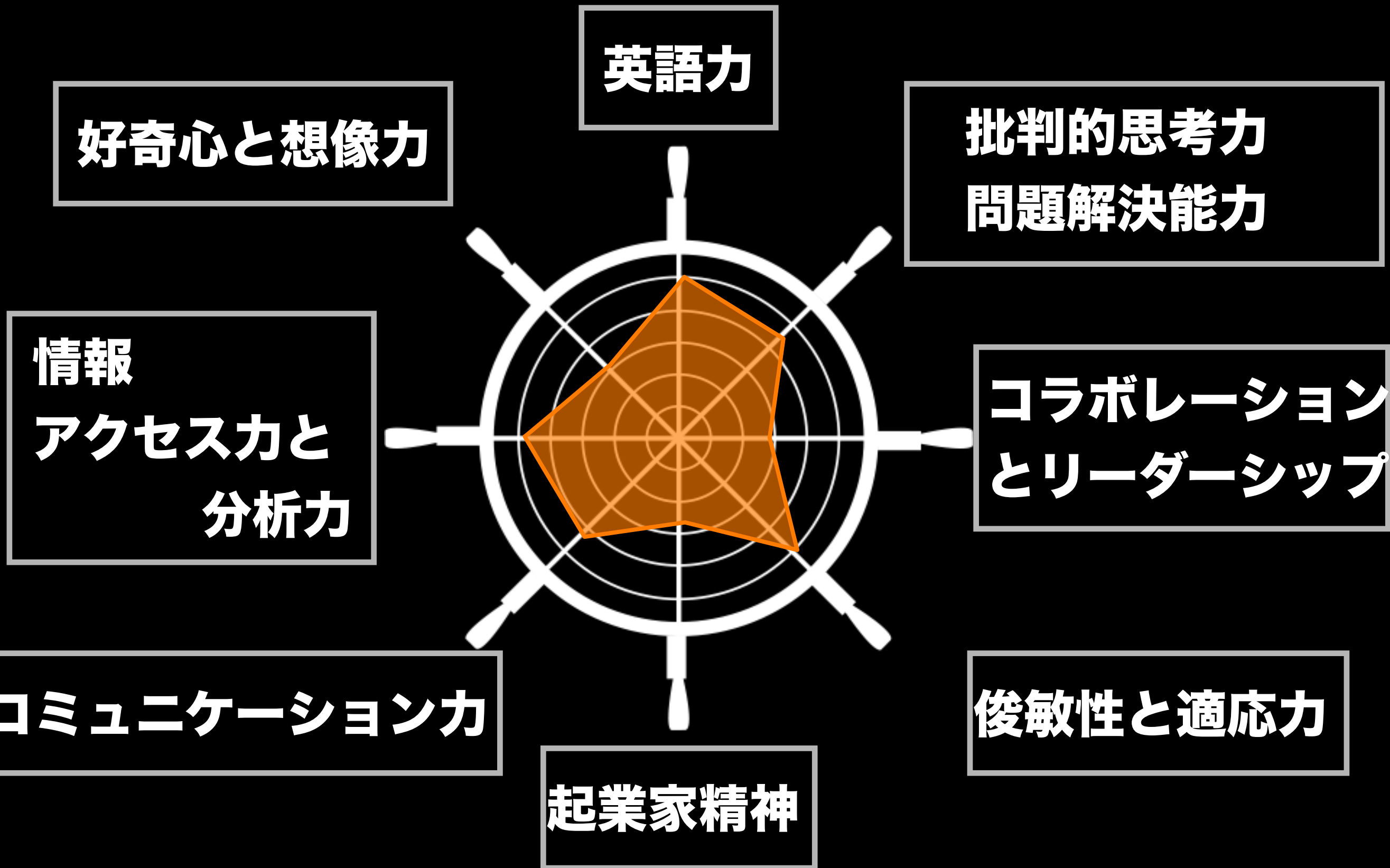
国際部副部長
国際コース主任

喜多 雄哉

本校SGH研究開発構想名

「21.3世紀の
グローバルナビゲーターの育成」

8つの「KOA Global Skills」



「食」

1年次「KOA Discovery」



キーワード

Logical Thinking

(ロジカル・シンキング)

MECE [重複なく漏れなく]

(Mutually Exclusive and Collectively Exhausted)

Problem Tree

(問題分析系図)

用意したルーブリック

KOA Global Studies PEER EVALUATION SHEET

I. KOA Global Skills

Skill 1 Critical Thinking & Problem Solving	なし	主観的のみ	主観+客観的	
・ 和食の定義について述べられているか	0	1	2	
・ 和食の現状分析がなされているか	0	1	2	
・ 課題が明確に述べられているか	0	1	2	Score
・ 課題に対する提案・解決方法が述べられているか	0	1	2	
Skill 7 Curiosity & Imagination	なし	できた	よくできた	
・ 課題に対し、創造的(クリエイティブ)で、斬新な提案・解決法を見出せているか	0	1	2	
・ 力強く、説得力のある考えを提示できているか	0	1	2	Score
・ 聞き手の感性に訴えているか(ポスター含)	0	1	2	
Total Score				

II. Comments (要旨、良かった点、改善点など)

優秀作品

生きていく中で大切なことを教えてくれる

安心する

WASYOKU 和食

米中心

経済効果をもたらす

健康的

油使ったものへ

今日本では米の消費量が減っている。

50年間2/3以下

160g EXT

1950年 2000年

課題

日本人にとって和食が身近でなくなっている

2013年にユネスコ無形文化遺産に登録されたものの日本では和食中心になることしなかった。→和食離れ(増)

原因
reason

- 日本食以外の食の普及
- 仕事>食事・孤食化(独身増加)
- インスタント食品ばかり食べるように

日本人が「中毒」に。ファストフードの方がスタイルにある (ローカロリー)

改善方法

- 日本人が和食についての正しい知識をつける
- 和食のインスタントをいやす
- コンビニに和食をいやす
- 食を楽しくする家具

授業の時間をつくる(食育)

残業時間の見直し

会社や学校の食堂に和食をとり入れる

誇るべき日本の宝

- 私たちにとって和食とは
心のよりどころ・昔ながらの味
- 現状
 - 平成25年12月にユネスコの無形文化遺産に
 - 世界に和食が広がる→日食=和食思想
 - 一方、日本ではパン派が増え、フレンチ型へ
 - 日本では和食ばなれつつある
 - 海外ではまちがった知識が定着し、日本では本当の和食を忘れたくない
- どうしていきたいか
 - ☆和食ならではの魅力ごとこれからの社会に伝えていきたい
 - 大切なことは意識改革
 - 『具体策』まずは…
 - フレンチ型のフレンチ型から三角食べのできる一汁三菜
 - 栄養がわかる
 - 色がイマイチ
 - 寂しい
 - 小学校の給食みたいな感じ

普段の食生活から、まずは始めてみる!

NPO法人アントレプレナーシップ開発センター主催

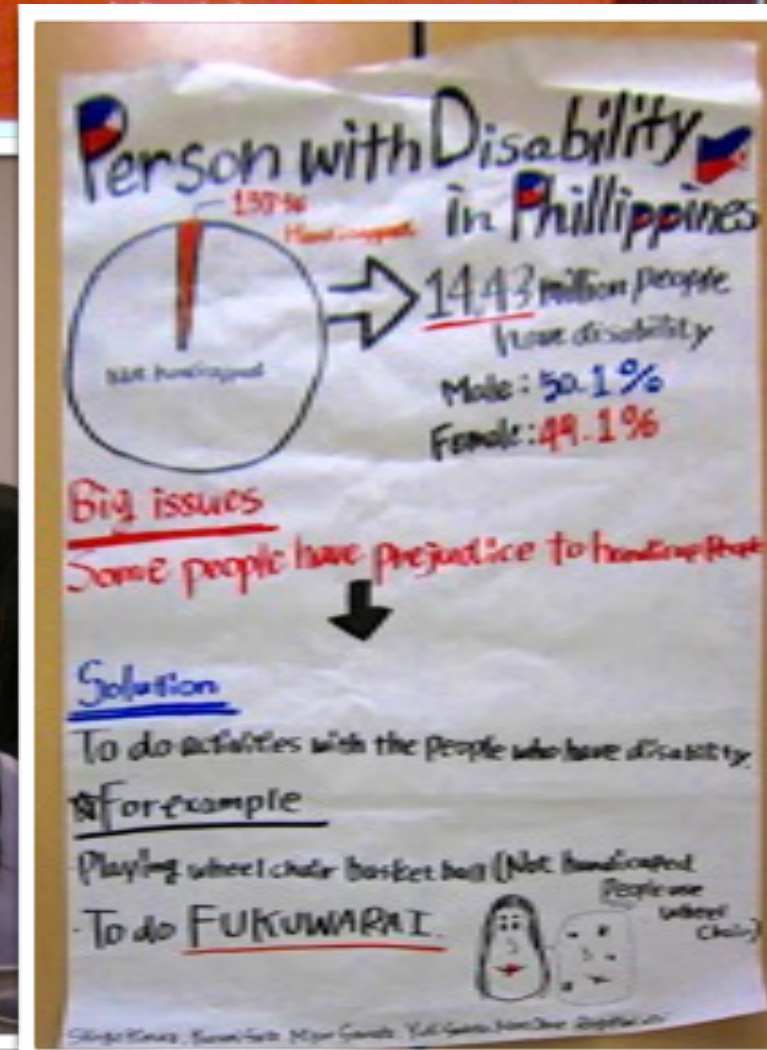
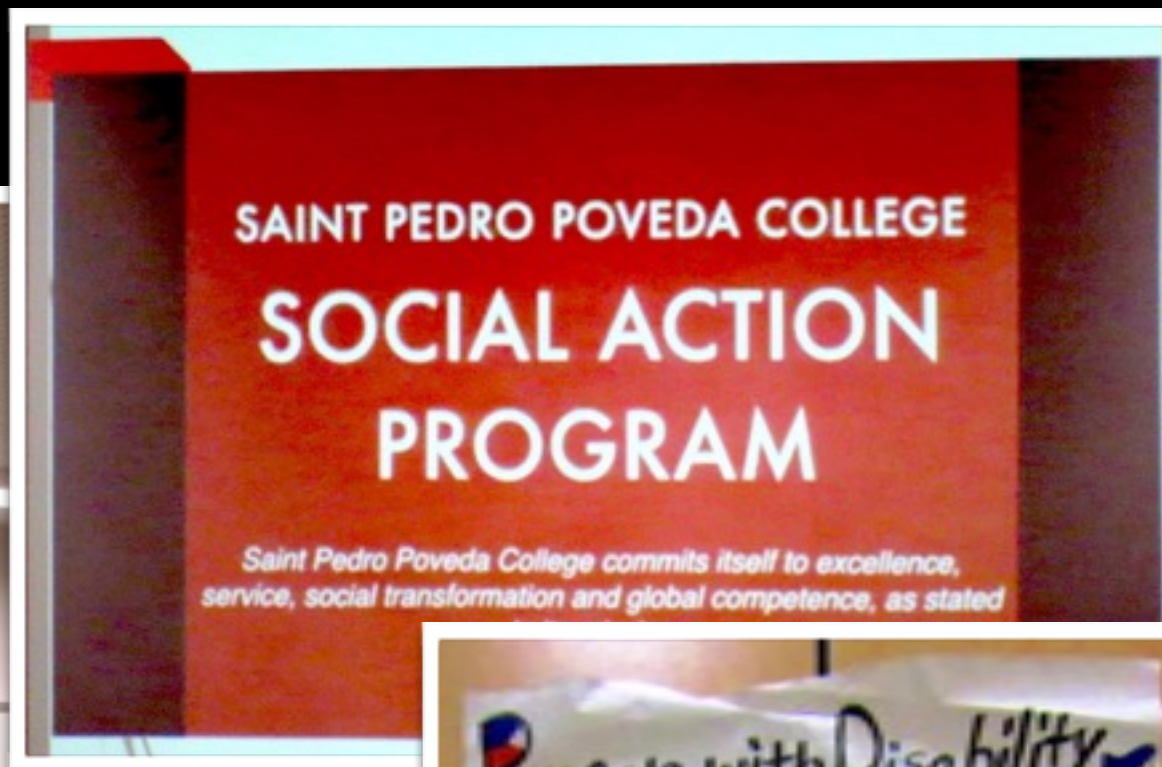
The Global Enterprise Challenge

国内予選 1 位

野菜を育ててみる経験



2年次 「KOA Business」



フィールド・トリップの様子

3年次 「グローバル・シミュレーション・ゲーミング」

テーマ：

Food Security 「食の安全保障」

“3人称から1人称へ”

グローバル・シミュレーション・ゲーミング

GSG (Global Simulation Gaming) :

東京大学と立命館大学国際関係学部が
共同開発した実践的な教育の取り組み

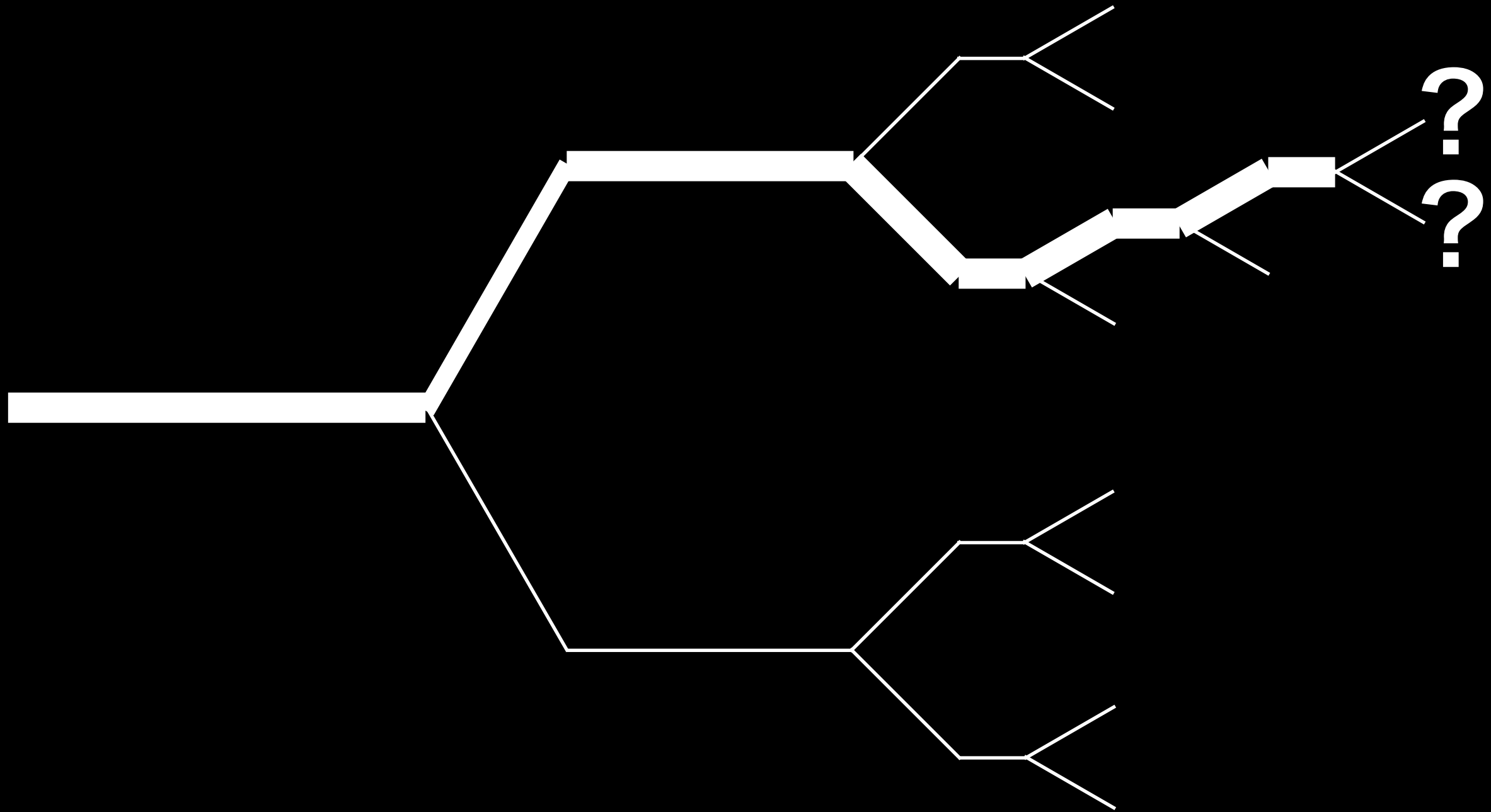
GSG と 模擬国連 の違い

- 模擬国連**：
- ・ 加盟国代表団による国際会議
 - ・ 議長も加盟国が実施する
 - ・ 加盟国代表同士の外交、締結文の採択
 - ・ 1対1の交渉

GSG：

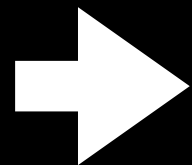
- ・ 国だけでなく、国連機関・NGO・企業も参加
- ・ それぞれが大統領、財務大臣などの役職に就く
- ・ 1対1だけでなく、多対多の交渉
- ・ 予算の概念を取り入れる(実際のGDPを元に)
- ・ 会議は模擬国連の2割程度

シミュレーションと現実のリンク

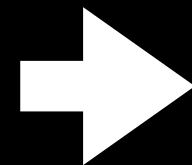


セント・ペドロ・ポベダ・カレッジとの共同作業

1対1の交渉



多対多の交渉

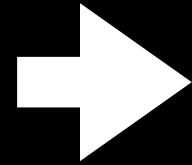


宣言文作成

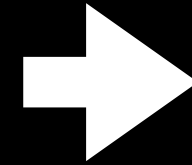


セント・ペドロ・ポベダ・カレッジとの共同作業

1対1の交渉



多対多の交渉

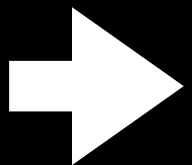


宣言文作成

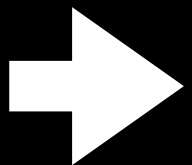


セント・ペドロ・ポベダ・カレッジとの共同作業

1対1の交渉



多対多の交渉



宣言文採択



GSGの様子のご紹介

フォーマル・アグリーメント・レコード・フォームの例

Treaty Record Form

(Treaty · Charter · Regulation · Agreement · Other)

* Name:

* Host Actor:

* Adopted Time: (e.g. x session hh:mm)

* Content: (aim / rights & duties of parties involved / treaty content)

* Requirement(s) for Entry into Force: (ex. ratification of both parties)

Notes:

* Representative's Signature

* In principle, the highest policy-maker.

Actor Name	Signature / Adoption		Ratification	
	Title	Name	Title	Name

* Host actor will manage whether the requirements for entry into force are sufficient.

* Make sure you submit to reception.

* Signature/adoption indicates consent of treaty content.

* Ratification indicates agreement to the legally binding instrument.

* Staff will post on manaba+R and the bulletin board.

For Reception Use

Reception Time (session x hh:mm)	
Person in Charge	
Notes:	

締結内容例

	合意文書名	受理日時	調印者 1	調印者 2	調印者 3	その他の数
A	緊急時に関する合意	24日13:50	オーストラリア	赤十字		
A	ブラジルのインフラ整備に対する 資金援助	24日13:47	ブラジル	アメリカ		
A	NGOのパートナーシップに関する 合意	24日13:48	赤十字	Oxfam	WFP	
A	日伯農地改革合意	24日13:46	ブラジル	日本		
A	ライフスタイル支援協定	24日14:08	日本	オーストラリア		
A	独印土地・技術協定	24日13:52	ドイツ	インド		
A	先進国と新興国間の食料安全保障 に関する協定	24日14:58	サウジアラビア	フランス	エチオピア	エジプト

締結内容例

	合意文書名	概要
A	緊急時に関する合意	干ばつなどの緊急時に赤十字はオーストラリアに援助する
A	ブラジルのインフラ整備に対する資金援助	Bのインフラ整備にアメリカは資金援助をする、その代わりにブラジルはアメリカからの輸入を増やす
A	NGOのパートナーシップに関する合意	3者共同で持続可能な支援を行う
A	日伯農地改革合意	小規模農業にブラジル人を雇用する、ブラジル人に訓練を施す
A	ライフスタイル支援協定	オーストラリアは日本の牛肉に対する関税を優遇する代わりに日本はオーストラリアに健康的なライフスタイルを始動する
A	独印土地・技術協定	インドはドイツにスポーツ用品会社用の土地を提供する、ドイツはインドに食糧備蓄や環境保全技術を提供する
A	先進国と新興国間の食料安全保障に関する協定	フランスは食糧廃棄物をサウジ他の国土に廃棄するサウジ他は仏から太陽熱で海水を淡水化する技術をもらう

宣言文

前文

我々各国の国家首脳並びに代理人及びヨーロッパ共同体の代表は、世界から飢餓を撲滅するための緊急行動をとるためにインド国のムンバイで世界食糧安全保障サミットを開催した。

この目標を達成するために、我々は、以下の「持続可能なグローバルな食糧安全保障に向けてのムンバイ4原則」に基づいて行動することを決意して誓約する。

宣言文

決意と行動

1. 食糧アクセスシステムの改善

現代社会においてはおよそ7億9千5百万人の人々が十分な食糧を手に入れることができず、健康で生産的な生活を送ることができていない。これは地球上の9人に一人の割合である。この原因は本来摂取すべき栄養をきちんと入手できないことである。したがって我々は飢餓を撲滅するためには食糧アクセスシステムを改善しなければならない。

では実際に

GSGを体験しましょう

テーマは「水の安全保障」

皆様にはこれから3つのグループに分かれていただきます。

Group1 国家（先進国・発展途上国）

Group2 国連機関

Group3 NGO

テーマに即して、今後他のグループと交渉等を行う場合、どのような情報が必要となるか？

参考例

- ・ 国家

(先進国)

自国の現状、水質改善等の技術

(発展途上国)

水質汚染の現状、インフラの現状

- ・ 国連機関

過去の水質汚染などに関する事例・条約の情

報収集

- ・ NGO

中立な立場として何ができるか、過去の事例

GSGを通して「KOA Global Skills」 を考察する

1. 批判的思考

問題解決能力

2. コラボレーションとリーダーシップ

それぞれがリーダーのポジションに

3. 俊敏性と適応力

現実とのリンクに対応する

GSGを通して「KOA 8スキル」を考察する

4. 起業家精神

リスクをとる

新しいことの提案

皆が気になる話題（提案）の提供

5. コミュニケーション力

口頭だけでなく文章による意思疎通

ビジョンを簡潔に口頭で説明する

二国・他国との交渉

GSGを通して「KOA 8スキル」を考察する

6. 情報アクセス力と分析力

適切な情報源から信憑性のある情報を

7. 好奇心と想像力

既成概念にとらわれないアイデア・行動

8. 英語力

正式な交渉時には英語を使用

昨年度3年生の英語力

英検 準1級 23名

IELTS7.0以上 1名

IELTS5.0以上 49名

全員が**CEFR B2**を達成

GSGを実施して 反省と課題

- ① 実施時期とグループ分け
- ② 国際化会議のルールの習得
Parliamentary Procedure
- ③ どこまで生徒をコントロールするか
点を教えても、つなぐ線は教えない
- ④ 教員に求められるGSGの知識